

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	公衆衛生学(Public Health)		
ナンバリングコード	S20111	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / コース共通
単位数	1	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S001151	クラス名	-
担当教員名	甲斐 倫明、岩崎 香子、渡部 綾		
履修上の注意、履修条件	教科書を持参すること		
教科書	最新臨床検査学講座 公衆衛生学2024年版(照屋浩司・川村堅 著、医歯薬出版)		
参考文献及び指定図書			
関連科目			

○基本情報	
授業の目的	公衆衛生学の基礎となる次の事項を学修する。 1.公衆衛生の基礎概念と保健統計 2.環境保健、産業保健、食品保健、国際保健の概要 3.地域保健の概要
授業の概要	公衆衛生学の使命は、人々を疾病から守り健康で文化的な生活を維持することによって個々の持つ能力と集団としての能力を発揮させることである。人口問題、罹患、疾病、労働、環境整備、公害など、集団で生活する上で必要な地域社会の健康を組織的に管理し、一人ひとりの健康を保証できる生活水準の向上が目標として掲げられる。人々を取り巻く様々な状況において、環境保健、産業保健、食品保健、地域保健などの日本における社会への取り組みを中心に、さらに世界的に見た日本の状況を把握することにより、私たちを取り巻く環境の変化を学修していく。 (オムニバス方式 / 全8回) (甲斐倫明 / 4回) 保健統計、環境保健、産業保健、国際保健 (岩崎香子 / 1回)
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「オムニバス方式」 (3) アクティブ・ラーニング 「該当なし」
地域志向科目	
実務経験のある教員による授業科目	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】	公衆衛生学から科学と倫理について学び、倫理観に基づいた責任ある行動ができる。	20点		
【ディプロマ・ポリシー2】	医療産業人として公衆衛生学に関する幅広い教養を身に付け、公衆衛生統計の理解、公衆衛生上の対策の意義について学ぶ。	60点		
【ディプロマ・ポリシー3】	医療産業人として、多職種間の連携に必要な課題解決力を身につける。	20点		
【ディプロマ・ポリシー4】				

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
○成績評価のポイント 1. 期末テスト100点で評価します。 2. 期末テストに向けたポイントの整理のために、小テストが各授業の中で行われますが成績には影響しません。
○学習成果・課題のフィードバック方法 1. 期末テストの解答は解説します。

○その他
授業の進め方 1. 教科書を使用して授業を行います。必要に応じて授業プリント(電子ファイル)を用意して補足説明をします。 2. 理解度の確認のために小テストを行います。成績には影響しません。 3. 授業の質問は、講義中でもいつでも挙手して行うことができます。メールでの質問も受け付けます。

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	公衆衛生学(Public Health) 甲斐 倫明、岩崎 香子、渡部 綾	授業コード	S001151
学修内容				
1. 公衆衛生の概要 公衆衛生の概要と保健・衛生統計(死亡統計、疾病統計、健康指標)について学ぶ。				
予習	第1章、2章を読み、わからない点の質問を準備する。		約2時間	
復習	講義のポイントを復習する。		約2時間	
2. 疾病予防のための疫学調査 疾病予防のための疫学・疫学調査の基礎および公害の歴史と現代の環境保健について学ぶ。				
予習	第3章、9章を読み、わからない点の質問を準備する。		約2時間	
復習	講義のポイントを復習する。		約2時間	
3. 産業保健と労働衛生 職場の労災と健康診断を中心に産業保健と労働衛生を学ぶ。				
予習	第13章を読み、わからない点の質問を準備する。		約2時間	
復習	講義のポイントを復習する。		約2時間	
4. 国際保健 国際機関の役割と世界の保健状況と課題を中心に国際保健を学ぶ。				
予習	第15章を読み、わからない点の質問を準備する。		約2時間	
復習	講義のポイントを復習する。		約2時間	
5. 栄養と食中毒 栄養と食中毒を中心に食品保健を学ぶ。				
予習	第12章を読み、わからない点の質問を準備する。		約2時間	
復習	講義のポイントを復習する。		約2時間	
6. 感染症対策 感染の成立要因と感染経路の視点から衛生行政における感染症対策について学ぶ。				
予習	第11章を読み、わからない点の質問を準備する。		約2時間	
復習	講義のポイントを復習する。		約2時間	
7. 母子保健と地域保健 母子保健、高齢者保健を中心とした地域保健および健康保持増進と予防医学について学ぶ。				
予習	第4章、6章、7章を読み、わからない点の質問を準備する。		約2時間	
復習	講義のポイントを復習する。		約2時間	
8. 精神保健と障がい者保健 精神保健、障がい者保健を中心とした地域保健について学ぶ。				
予習	第8章を読み、わからない点の質問を準備する。		約2時間	
復習	講義資料と教科書をもとに、期末テストに備える。		約2時間	

○授業計画	科目名 担当教員	公衆衛生学(Public Health) 甲斐 倫明、岩崎 香子、渡部 綾	授業コード	S001151
学修内容				
9.				
予習				
復習				
10.				
予習				
復習				
11.				
予習				
復習				
12.				
予習				
復習				
13.				
予習				
復習				
14.				
予習				
復習				
15.				
予習				
復習				
16.				
予習				
復習				